



2023  
10.2<sup>月</sup>  
▼  
11.18<sup>土</sup>  
10:30-17:00

右上…玉蘭海棠図(大正10年(1921)個人蔵/右下…《白図》昭和12年(1937)個人蔵  
中央…雁来紅(大正15年(1926)個人蔵/左…《蕙蘭雲根図》大正9年(1920)個人蔵

# 波多野華涯の世界

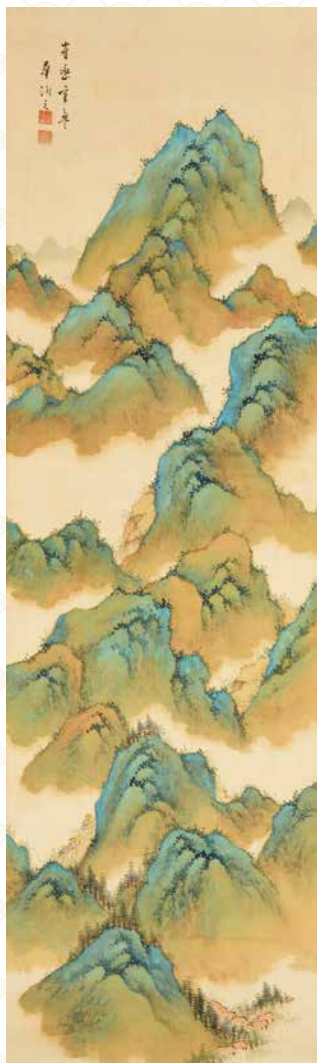
—女性文人画家の明治・大正・昭和—

会場/実践女子大学香雪記念資料館 企画展示室1・2、下田歌子記念室 主催/実践女子大学香雪記念資料館  
特別協力/小田切マリ氏(華涯文庫代表、波多野華涯曾孫) 後援/渋谷区教育委員会  
休館日/日曜日 ※ただし、10月8日(日)は開館 入館料/無料

実践女子大学香雪記念資料館

# 波多野華涯の世界

—女性文人画家の明治・大正・昭和—



《峯巒重疊之図》大正10年（1921）個人蔵

波多野華涯(1863-1944)は  
文久3年(1863)大坂に生まれ、  
跡見花蹊(1840-1926)や  
瀧和亭(1830-1901)、  
森琴石(1843-1921)らに画を学び、  
明治・大正・昭和という大きく  
変化した時代のなかで、  
文人画家として活躍しました。  
14歳のときには《海棠孔雀図》が天覧に供され、  
明治天皇から御言葉を賜るなど、  
早くからその才能を示し、内国絵画共進会や  
内国勲業博覧会へも作品を出品。  
大正6年(1917)に岡山へ移ってからは  
画家としての道を邁進し、多くの人々と  
交流しながら、「文人」として生き、  
また弟子たちの指導にも力を注ぎ、  
情熱を持って生涯絵筆を執り続けました。  
本展では華涯の描いた作品や  
関連資料をとおして、彼女が理想とし続けた  
文人画の世界を紹介します。



《墨梅》大正13年（1924）個人蔵



## 関連イベント

ギャラリートーク(事前申込不要)

10月7日(土)、10月8日(日)、11月11日(土)

※いずれも14:00~

## 交通アクセス

◇JR/東京メトロ/東急/京王「渋谷駅」東口から徒歩約10分

◇東京メトロ「表参道駅」B1出口から徒歩約12分

※当館は、実践女子大学渋谷キャンパスの1階にございます。駐車場・駐輪場はございませんので、ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。また、六本木通り沿いにある正面入口右手の警備室へ入館の旨をお伝えください。

## お問い合わせ先

実践女子大学香雪記念資料館

〒150-8538 東京都渋谷区東1-1-49 実践女子大学渋谷キャンパス内  
[HP] <https://www.jissen.ac.jp/kosetsu/>

※やむを得ず展覧会の会期や開館時間等を変更する場合がございます。最新情報につきましては、当館ホームページをご確認ください。

